

洞峰公園市民説明会議事録

開催日時：令和5年(2023年)7月22日(土) | 開催場所：洞峰公園アリーナ棟

司会 それでは、これより質疑応答の方に入らせていただきます。

多くの方から御意見をお伺いしたいので、大変申し訳ありませんが、質問は端的にお願いいたします。

○Aさん

Park-PFI に対する反対が76%あったということですが、それが市に移管するということで、その反対者をどのように満足させられたのでしょうか。何か変更があつてのことなのでしょうか。それとも、それがうやむやになったまま代替案が提示されて、移管されてしまったのかということでしょうか。すごく賛成ですけれども。

それと、2番目の代替案のことなのですが、値上げに賛成する人が50%を超えているというのは、ちょっとおかしいなと（感じます）。値上げしてでも PFI に反対するという人、すべて値上げが必ずしもいいと考えている人ではない（と思います）。PFI に反対する、値上げしてでも反対するというふうに捉えるべきだと思うのです。

それと、ちょっと話を変えますけれども、ここに公園課の山口さんがおられるので、私ちょっと質問したいのですが、樹木に対する伐採ですね。最初の PFI に対する反対者の中には、50年、100年の樹木が伐採されるということで、それで反対の人たちが多いと思うのですが、公園の中にベンチがあり、だいぶ前から、もうぼろぼろになっています。朽ち果てているベンチがあるので、そういうのが全然改善されないまま放置されているのですが、樹木のこととか、ベンチのこととか、そういうことに関して、どう対応するのでしょうか。

私は最初、竹園公園のポプラの木が41本、すばらしい大木だと思います。私は、日陰が好きで、よく散歩道としてあそこを歩くのが好きなのです。都市における樹木というのは、非常に大切なものであり、熱帯夜を防ぎます。アスファルトの中で、樹木というのは本当に大切なものなので、木を切るということは、私はものすごく反対しております。明治神宮のあれにも共通するのですが、今、東大通りで樹木の伐採が計画されているじゃないですか。何かマークつけられているのですよ。あれ、切られるのですか。樹木の管理に関して不安というか確認をしたい。

○回答

ありがとうございます。

まず、Park-PFI について。Park-PFI 自体は、1 番最初の設問で、改善が必要ですかという方は 87%でしたので、75%というのは、その導入目的が違うのだよねという方だったので、実際もっと多くの方が反対をしていたと思います。それから、代替案については、県に依頼をしました。依頼をしましたが、なかなか県の回答では、まあまあ、ちょっと、今日は県の方もいらっしゃるのであれなのですけれども、それは対応しないと、Park-PFI をやるのだと、それか市に無償譲渡だという、ゼロか 100 かということで、もちろん、いろいろな交渉はしていましたけれども、そういう状況があります。

それから、樹木については、私は、今、お話しされたように、都市の緑地というのは非常に重要なものだと思っております。例えば、これも私が就任する前に、このペDESTリアンデッキなど、中心市街地の街路樹、ほぼ全て切る計画になっていたのです。これは歩道の拡幅をするという意味で。それで、すごい数だったので、そのとき、ちょっと待ってくれという話をして、もう業者への発注も済んでしまっ、一部はもう切られちゃったのですが、実際に私も日本造園学会の会長さんとかと歩いて、切る必要ないでしょうということを一本一本やって、結局、市の方針としては、根腐れをしている、それから虫に食われて倒木の危険性があるというようなもの以外、それと、あまりにも視界を、例えばこの樹木によって遮られて、交通事故が頻発している箇所が何か所かありますので、そういう命に関わるもの以外は全て残すという方針に変え、ひとつの公園だけでも 100 本以上を守れたのですけれども。今、お話ししていただいた公園の木については、これはやはり虫に食われていたりして、羽成公園という公園がありますけれども、そこで、この虫食いによって倒木をしてしまっ、そこに止まっていた車を廃車にしまったのです。それで、樹木医に一斉調査をかけて、その中で、先ほどの公園についても、倒木の危険性が高いということで、そういう木については切らざるを得ない。それは本当に子どもだったら死んでしまうわけですから。ただ、それ以外の木は、基本的には全て残すという方針で取り組んでいます。

ベンチについては、管理が行き届いていないところは大変申し訳ないと思いますが、お話しいただいたものは、できるだけ修繕に入っていますし、特に来年度予算では、もう既に市では出していますが、できるだけ確認して、外れているようなベンチというのは、基本的にはどんどん修理をしていくということの用意をしていますので、皆さんの身近ないろんな環境をより快適にできるようにしていきたいと思っております。

○Bさん

ありがとうございます。

ひとつは、これは県の方が来ているので、ちょっとお聞きしたいと思って。

○回答

できれば市に対する御質問にさせていただければありがたいのですけれども。

○Bさん

契約がどうなっているのかなというところ（を質問したい）。Park-PFI事業として、本来スタートしているはずですので、それは、Park-PFI事業が進んでいませんので、止まったままということなのですが、現実にはどうなのかということを確認したいということ。

それから、もう1つ、県が7月31日に臨時議会をやって、県有施設と、それから出資団体の特別委員会をつくって、いろいろ民間に売却する計画等も含めて、県の施設の管理をしていくと、その中に洞峰公園が入っていないかもしれませんが、当然それも対象になるというような議員さんの発言があるようなので、その特別委員会の対象施設として洞峰公園がなっているのかどうか、そこを確認したいと思います。

○回答

Park-PFIについての理解としては、契約が今、止まっています。止まっているのですが、破棄はされていませんので、今後の状況によって、ずっと止まれば、それで破棄をされるというふうに理解をしています。特別委員会については、では、簡単に（茨城県から回答をお願いします）。

○回答（茨城県）

県の都市整備課長の犬塚と申します。

今、御質問があった調査特別委員会という形で県議会において設定されるということで、私どももまだ正確にどういう形で行われるか、どういったものが対象になるかということは明確にまだ示されておられません。ひとつ聞いているのは、7月31日に臨時議会を開いてそこで（決まる）、というようなことは聞いています。そこで議決をされて、どういうふうにやっていくかということが決まってくるというのかと。その中に洞峰公園が入るかどうかというのは、当然、その中で、県議会のほうで御判断される部分でございますけれども、そういった可能性も含めて、あるというふうに我々が認識した上で、これから進めたいというふうに考えております。

○Bさん

すみません。今の答えについて、洞峰公園も含めて考えられるということですか。意味がよく分からな

かったのですけれども。

○回答（茨城県）

ですから、正確には分からない。まだそこまで明確になっていないのですが、当然そういったことも含められることを想定して、我々がこれから取り組んでいくという。まだ分からないという。議会で決めることなので、分からないと（いうこととなります）。

○Bさん

洞峰公園もあるかもしれないということなのですか。白紙になるなど。

○回答（茨城県）

そういうのは、それはないです、うちは。管理の在り方とかそういうことが議論になる可能性はあるということで、その準備をしているということです。

○回答

できれば、市に対する御発言を（お願いします）。

○Cさん

こんにちは。ちょっと聞きたいことがありまして、テニスコートを新しく造るという話は、もう同時になくなる感じですかね。

○回答

はい。今のところは、新しく何かを造るということは、この移管については、考えていません。

○Cさん

この洞峰公園からすぐ近くにある産総研の中に、洞峰公園の手前にテニスコートがぼつんとあって、ほぼ誰も使っていないテニスコートがあるので、ちょっとそこは古くなっちゃっているのですけれども。この話の前は、まだ県のものだったので、洞峰公園が。市長さんのフェイスブックでも市に移管され、もし、つくば市のものに洞峰公園が今後なるとしたら、産総研も、同じつくば市同士なので、そこをうまく（利用したらどうか）、洞峰公園のほうにいっぱい人（利用者）がいて、キャンセル待ちの人とかのために、そこをうまく使うことはできないのかなという提案です。

○回答

ありがとうございます。産総研も、市が運営しているわけではなくて国の機関なので、なかなかわからないところもありますけれども、最近、研究機関もいろいろ地域との連携というのは、前向きになってき

ています。でも、施設を所属によらず、みんなで共有していくという思想自体は、すごく大事なものになるかなと思いますので、そういうことも含めて考えられる余地があると思います。ありがとうございます。

○Dさん

よろしく申し上げます。先ほどの説明の中で、つくば市の負担が1億5,000万ですと。全体のことはよく分かりませんが、1億5,000万という金額は、一般人からすると相当な金額だというふうに思うのですが、そういう負担も含めて、つくば市は、財政的に非常に恵まれていると思うのですが、将来を見越しての、ほかの部門を含めての負担増なんかについても考えておられるのでしょうか。

○回答

ありがとうございます。長期的な財政の見通しというのは非常に重要だと思っていて、何でもかんでも造ったりしたら、その後の維持管理が大変なことになります。その典型が、当時の総合運動公園の計画だと思いますけれども。そういうことではなくて、財政の見通しをしっかりと立てていくということがすごく重要です。

つくば市の現在の財政状況というのは、県内で3団体しかないのですけれども、国から地方交付税というものが来ない、簡単に言うと、財政としては、今のところ状況が（良い）、収入と支出で言うと黒字にそもそもなっているよという団体です。今だけじゃなくて、将来の負担がどれくらいかというようなものがあるのですけれども、将来の数字についても、極めて健全な数字をつくば市としては今、保っています。実際に、県内でも自治体によっては、どことは、申し上げませんが、将来こんなに使ったら危ないだろうな、みたいな財政の数字のところもありますが、そういう客観的な指標を、どれを取ってみても、つくば市は財政の健全度というのは、今のところは不安がない状況であり、今後も、今学校をたくさん一生懸命（建設しています。）、学校を250億、もっとかもしれませんが、（予算を）かけて、一校当たり50億くらいかな、今度、また造ったりしますが、数百億単位のお金が動いていきますが、そういうものの、返済とかそういうことも含めて見ても、今のところは財政の健全度というのは保たれる中で事業をしていますので。

本当は私も、もっと将来に借金を残してでも、必要なものを造った方がいいのかもしれませんが、それをすると、次の世代に大きな負担が行きますので。今の世代と次の世代の両方を満足させるぎりぎりのところを毎年、予算編成をしています。ただ、先ほどお話があったように、修繕とか、それは必要なことですので、そういった修繕とか維持管理では、今までもやってきましたけれども、今まで以上に来年度は

また投資もしていきたいなど、そんなことを考えています。

○Eさん

今日は市長のほうから、そもそも論というか、そういう話をしてもらったのですが、それは大事なことだと思います。特にこういったものは、ひとりひとりの考え方が違うわけですが、そもそも洞峰公園というのはどんな公園であるのか、どういう公園にしたいのかというふうなことは非常に議論する価値があるものだと思って、ありがたく思っています。

その中で、この規模の公園になってくると、都市公園としての役割というのがあって、その中で、いわゆる防災といいますか、災害があったときの避難所としての機能。今日はその話が出ていなかったのですが、前回の3.11のときも、ここはそういう（災害があったときの避難所）拠点として、皆さんかなり、避難された方も長時間おられたと思います。そういった意味合いを再度、これだけ今、温暖化もあったりして、あちこちで予期せざるが起こっているわけですので、そういう視点もひとつ必要かなと（思います）。

もう1点は、市に移管されたときに運営体制をどう考えるか。協議会で決めたらいいというふうなこともありますが、市民がひとりひとり関われるような運営体制。端的な例は、市民が株主になって関わると。その代わり、関わったからには、草の一本も抜いて帰るといような応援ですね。そういうイメージのものもひとつ、協議会で議論されるネタかも分かりませんが、そういうことも視野に入れた運営体制、今どう考えておられるか、教えていただきたいと思います。以上です。

○回答

ありがとうございます。

防災の話はここには入っていませんが、当然、重要な視点だと思っていますし、まさに2011年、私も災害のボランティアをしていて、そこでの避難所運営をして、毛布を持ってくるなど、いろいろなことをしたことを今も鮮明に覚えていますけれども。この体育館は、福島からの避難者で本当にいっぱいになって、それを地域の皆さんで支えていったということがあります。やはり都市の中での大きな拠点ですので、安全性等も含めて、いざというときに防災の拠点にできるだけ物資を確保しておくということは、非常に重要だと思っています。今ここでどういう物資が管理されているかはあまりわかりませんが、何かはあると思いますが、いざというときに当然、市としては、指定避難所というのをいろいろな形で造っていきますので、移管された際に、どういう形でここを避難所として活用できるかということは、当然、

議論のひとつになってくると思います。

もうひとつの市民からの出資ということになると思いますけれども、非常に面白いアイデアだと思っております。さっきもちょっとお話ししましたが、非常に多くの方がお金を出すと云ってくださっていて、実際に出すことになって、どれくらい出していただけるかというのは分かりませんが、少なくともそういうお気持ちを持っていろいろなことを考えている方がなど、実際に汗をかいてくださっている方がいましたので、協議会の中でそういう材料をいろいろな形でもんでいくと、知恵は出ると思うのですよね。ですので、何人の方が、千円、一万円、もっと（多い金額）なのか、分かりませんが、いろいろな形で関われる仕組みをつくっていくというのは、非常に面白い提言だと思いますので、そういうことも協議会の中で話をして、先ほどの、どうしても 1.5 億という数字がインパクト（がある）という部分でありますけれども、いろいろな工夫をすることによって、かなり縮減もできるだろうと思っておりますし、逆にそれを積極的な市民からの、市民公募債ということをやっている自治体もありますが、そういうアプローチというものもあるのだろうなということは考えておりますけれども、その辺もぜひ協議会で話をしていきたいと思っております。

○Fさん

今回のパーク P F I でアンケートを実施されて、市民の声を聞いて、その上で県が市へ無償で譲渡すると。それで、市がそれを受け入れるという両者の御英断には本当に感謝しています。

協議会を設置されるということですが、どういう形で協議会を設置して市民等の意見を拾ってとりまとめていくのかということをお伺いしたいのですけれども。

○回答

ありがとうございます。

これは、まだ仮のイメージですので、ここで具体的に言うと、当然、（協議会には、）県も市も入りますし、地域にはお店もありますので、そういう皆様が入ったり、有識者が入ったり、環境関係が入るかどうかわかりませんが、そういうものであったり、自治会、指定管理者、いろいろ既に洞峰公園で活動している団体がたくさんありますので、そういう団体の皆様に（協議会に）入っていただきたいと思っております。

実は、これも午前中（の説明会時）に御提案いただいたものなのですが、できるだけ協議会自体はいろいろな人が入るようにして欲しいという御要望を頂きました。ただ、全員で同時に議論するのは大変だから、

例えば環境関係の部会をつくるとか、ひょっとしたら売上関係の部会をつくるとか、ボランティア関係の部会をつくるとか、そういうふうに部会をつくって行って議論をまとめていくなんていう手法がいいのではないかというような御提案を頂きました。そういうことも含めて、今、こういう協議会にしますというのは断定できなくて申し訳ないのですが、私もできるだけ広く、主体的に皆さんが関わられるような形というのをつくれればいなというふうには考えております。ちょっと歯切れが悪くて申し訳ないのですが、大体そんな感じでイメージとしてはよろしいでしょうか。

○OGさん

今日はどうもありがとうございました。アンケートのことについてお伺いしたいのですけれども、8月に市のほうでアンケートをされるということですが、そのアンケートによって得られるというか、そのアンケートに何を記載されているのかということと、もうひとつ、お話の中で、今1.5（億）という数字が目立ってしまったのですが、（市には、）もっと多くの事業があつて、それが全てアンケートを取っているかということ、そもそもアンケートを取る、取らないのかという基準といたしますか、そういうことについてのお考えを教えてくださいたいと思います。

○回答

非常に的確な御質問だったと思いますが、まず、アンケートでは、今、設問は検討をしているところです。決して、私は、無償譲渡がいいということを今までの議論の積み重ねで考えていますけれども、何か誘導的に、みんながこっちに賛成しやすくなるようなアンケートを作ってしまったら、市として、これはもう地に落ちた話だと思いますので、今日のような情報をお伝えしながら、どういう形であれば、偏りとかバイアスをかけずに市民の声を聞けるかということを考えているので、まだ検討中です。

ただ、恐らく、その中には大枠として、今回のアンケートがそうだったように、そもそも、この計画に賛成なのか反対なのかということも、無償譲渡（について）ですね、これは何らかの形で、イエス・ノーにするのか、全部、自由記述なのか分かりませんが、そういうことを考えていかなければいけないと思っております。それを踏まえて、思いのこもった皆さんが例えばここに来て、いろいろなアンケートを取ると賛成の方の割合のほうが多いと感じていますし、実際、今、議員の皆さん方とお話をしていても、賛成の方のほうが多いと感じていますが、アンケートで、そういったものがどの程度確認できるのかできないか、あるいは、声にならないけれども反対の方が実はすごく多いとか、分かりませんが、その温度感を確認するものにしよう。もちろんアンケートでどっちが多かったから、こうだというような単

純な話ではなくて、こういう対話での御意見、そしてアンケートでの御意見を踏まえて、最終的には議会に案をどういう形で提出するかということになってきますので、その判断の材料にしたいということを考えています。

1.5 億という金額については、おっしゃるとおりで、市の様々な事業を考えると、公園の管理費全体で十数億、道路だけで何億、100 億を超える数字など、当然、建物を造れば簡単に、保育所、児童館等でも 10 億弱の金額がかかったと。確かにそういうことで、いちいちアンケートは取っていないですよ。取っていないのですけれども、私が今回感じているのは、非常にいいきっかけだったなということもあるのですけれども、今回、非常によかったのは、やはり公園の維持管理もお金がかかるということを皆さんとも結構共有できたのかなというふうに思っています。もちろん、ほかにも様々な、ありとあらゆることにお金がかかっているのですよね。外灯にしてもそうですし、施設の点検費もそうです。全てにお金がかかっています、その中で、ただ、今回、いろいろなこれまでの経緯がありましたので、御関心を持つ方が多い。そして、市民の方が、あるいは市民じゃない方も含めて、この洞峰公園を守りたいというお声が非常にたくさんあった中で、これを一つの大きな市民との協働事業の題材になるのではないのかと。私、ずっと共につくると言うことを言っていますが、この 1.5 億という数字をどう捉えるかというのは、ひとつのまちの在り方を考える上でも、対話を大事にしているということをお話ししていますが、非常に大きな材料なんじゃないかなと思います。ですので、単純に多数決で決めるということでもないですし、これまでの経緯を皆さんにも知っていただきながら、協議会を設置して、多くの議論、それぞれの立場で意見を交わして、そのことでよりよい環境を守っていくということ自体に価値があると思っていますので、その議論に資するためには、やはりアンケートを取って、協議会でいろいろな方の意見をできるだけ反映できるようにしていきたいなというふうに思っていますので、おっしゃるとおりで、100 億の事業をやるにもアンケートを取らないこともありますし、そういう意味では、この金額でアンケートを取ることは、ほとんどない規模感であるということは実際にありますし、財政全体でいけば、ほかの事業と比べても必ずしも大きい金額ではないのですけれども、こういう機会に、いろいろ、それぞれ、私も新しい学びがありますし、皆さんにとっても新しい気づきとなるような機会にもなるのではないかなと思っていますので、いろいろ申し上げましたが、金額の多寡ではなくて、御意見もあるかもしれませんが、確かに市の財政状況としてはそうですけれども、ぜひやりたいなという思いがここにはこもっております。

○Hさん

1億5,000万が一般市民からすると結構大きな額なので、多分、引っかかるのは、今まで県がやっていたことを、支払っていたものを何でつくばが払わなきゃいけないのというのがあるような気がするのです。というのは、県営で公園を運営してきたというのは、それなりの意味があったはずなので。

ただ、これで市に移管された場合に、市がかなり主体性を持って管理できるという、それはいい点だと思うのです。だとすれば、ここで県が大規模修繕予定の10項目があって、そのうちの幾つかだけはやって、残りがあるみたいなので、できれば、これは全部責任を持って県がやって（修繕して）から移管していただきたいと思います。

○回答

大規模修繕のことは、実際に県が修繕するとしたところを、市の依頼した建築士と見て（現場を確認して）、建物をなおす必要性を確認して、その（修繕する）必要はないよねというようなことが結構、明確に分かったものについては除外していますが、それ以外のものについては、県がしっかり責任を持ってくれるということですので、やっていただきたいなと思っています。

それから、修繕費が1.5億で、県が本来出すべきものではないという話ですけども、最初にもお話ししたんですけども、そもそも総合公園という形で、当時で言うと谷田部の町だったわけですけども、位置づけとしては、その自治体の人のための公園だったのですよね。ですので、本来は市が整備するものにはあるのです。この洞峰公園というのは、ただ、この大きな公園を当時の町や村でなかなか持つことができないですから、こういう形で総合公園として県が整備をしてくれたというのが、今を遡ること数十年前の経緯です。今も位置づけとして総合公園として、つくば市域を対象としたというのは法律の中で定められているという話をしましたけれども、そういう意味では、市で管理をしていくということは、事の経緯というか、公園の法的な性質からすると、今までは県がやってきてくださいましたけれども、これを県から市に無償譲渡（による移管）ですね、これを何十億で買えというのなら、また話は別ですけども、無償譲渡という形で管理費が移管されていくというのは、全体として見れば、そこまで道理に外れていることではないのかなとか、本来の形に収れんしてきているのかなとかいうことはちょっと思っております。

○Iさん

私、そこの接している道路ですね、東と西を結ぶ基幹道路があって、通勤時には常に車で混んでいる。

その道沿いに駐車場の入口があるわけです。非常に今後、洞峰公園が土日とかいろいろ、また混雑すると思うのですね。もうちょっと駐車場の入口を別のところからでも入れるようにとか、そういうようなことを協議会などで議論していただきたいなと思っています。

○回答

ありがとうございます。

私自身、週末、特に西大通り側で渋滞をしてしまって、入庫待ちの車が入れずにいるというような状況があることは把握していますし、今日、入ってくるまでに非常に渋滞が起きていますけれども、この構造は確かにちょっと課題が多いなというか、いつも渋滞しているわけではないのですが、やはり週末の気候のいいときは、かなり混むなという印象を持っていますので、そういったことも。当然、アクセスを、西大通りとか簡単に切れないです、どういことが現実的なアクセスルートとして改善できるかなどということは、協議会の中で（議論のひとつになる）。これは行政として、本来ある程度考えるべきものだと思いますけれども、よく議論をしていければと思います。ありがとうございます。

さっき、西大通りの街路樹の件を回答しなかったですが、街路樹は、あまり仮定の話はできないので、県が管理しておりまして、茨城県として街路樹の計画で伐採をしているという方針でして、私も木は切らないで欲しいとは思っていますが、その中では、結構、丁寧に議論はされているのを見ましたし、筑波大などのかなり街路樹にこだわりを持っている先生なんかと一緒に、今回の東・西大通り等の樹木伐採についての計画がつくられておりましたので、それによると、景観としての影響は最小限に抑えられるというように伐採計画が立てられるということになっておりますので、それは市としては、その計画どおりになることをちゃんと見ていきたいなというふうに思っております。

○Jさん

ありがとうございます。

二の宮三丁目の〇〇と申します。質問というか意見になるかもしれませんが、改めて、なぜ洞峰公園を守るのかということですが、生態系を大切に、これだけ貴重な自然を次世代につないでいくと、先ほどの説明に共感します。改めて、つくば市の市民憲章を市民として見てみたのですが、こういうことも書いていました。「水と緑、きれいな空気と青い空、人間と自然と科学が調和しながら共存するまち」。一人の市民として大切にしていきたい、こういうことです。

それから、皆様も御覧になったと思いますけれども、市のマークがありますね。市章。「つ」の文字が重

なっていて、ライトブルーが澄んだ青空とサイエンス、もうひとつは緑でライトグリーン。これが輝かしい新緑とネイチャー、自然を表す。このふたつのコンセプトはとても大事なことであって、私たちも大切にしていきたい、洞峰公園を守るというのは、この考え方に沿ったものだと思います。

SDGsについての説明がありましたけれども、つくば市SDGs未来都市計画の中でも、公園の中に街があるような緑豊かなゆとりある街並み、こういう考え方があります。

洞峰公園を守っていきたいという形は、こうしたビジョン、どういうまちにしていきたいのか、つくっていただきたいのか、住みたいのかということに沿ったものであるなと思います。それがひとつです。

もうひとつは、経費の関係、コストの問題なのですが、1億5,000万という維持管理費がありましたけれども、これは実際にもっと吟味したら下がっていくものだと思います。市のほうで独自に建築士の方と調査したというのは、本当に良かったなと思います。

皆さん御覧になった方がいると思いますけれども、例えば最初の茨城県の説明では、フィールドハウスって皆さん御存じですかね。グラウンドのところにあるフィールドハウス。自動販売機とトイレがあるところ。かなりしっかりした建物ですね。これに、当初、茨城県の御説明では、1億4,000万くらいをかけて大規模修繕するという計画でした。今回、建築士の方が見たら、屋上のところが剥がれているなど、外壁が一部ちょっと取れやすくなっているとか、そういうのはありますけれども、2,800万円くらいまで下がっているのではないのでしょうか。資料を見ると。ですから、そうやってよくよく必要性とかを見ていけば、コストは下げられると思います。午前中も御質問の中で人件費のことがありましたけれども、こうしたこともよく見直しして、支出をどれだけ絞れるか。

それから収入も、コロナが収まってきていますから、業者さんとかスポーツ教室とか、利用者がこれから増えてくると思います。そうした収入増のことも考えられると思います。ですから、これだけお金がかかるのだというところだけではなくて、これだけのお金をかけてもいいから緑を守りたい、静かな、本当に美しい洞峰公園を、私たちつくば市の誇りとして、茨城県の誇りとして守っていきたいという、不変の価値があるなと思っています。

それから、大規模修繕のほうは、あらかじめ県のほうで直していただいて、それからつくば市に譲渡する。本当にありがとうございました。とても市民として、茨城県民として感謝したいと思います。どれだけお金がかかるかということももちろん懸案として考えなければいけないわけですが、どうやったらこの生態系、美しい自然を、次の子どもたち、次世代につないでいけるのか、つくば市の大事にしているビジョンをみんなで育てていけるのか。そのために知恵を絞って力を合わせていきたいと思っています。

どうもありがとうございました。

○回答

ありがとうございます。

繰り返しになりますけれども、（維持管理費の）1.5億という数字は、おっしゃるように、かなり、かなりというのはどうか分かりませんが、午前中も御意見が出ていましたが、管理の仕方によっては、縮減は十分できる余地があるだろうということは考えています。（洞峰公園は）そういう投資をしてでも守っていく価値がある場所だと私は思っていますけれども、必ずしも、それは当然、いろいろな御意見があって、別に多少影響を受けたってグランピングでいいじゃないかというお声もあることも承知をしていますが、そのことによって受ける影響等々を考えれば、ここは、市としては、投資をしていく場所、公として投資をしていく場所だということなのだろうなということを、財政状況も含めて、私は、市長としては判断していますが。県の大規模修繕については、あまり御本人もおっしゃらないと思いますので、後ろに鈴木県議が座っていますけれども、本当に様々な調整をしてくださって、県が事前に修繕をした上で渡すということを最終的にまとめていただいたので、あまりふだん言う機会はないですけども、本当に感謝していると。

○Kさん

御丁寧な説明ありがとうございました。

ちょっと皆さんと違って、昨年の説明会、それから今日の説明会を見て思っているのですけれども、どうも議論が、意図的か意図的でないかは別にして、最初から、例えば昨年だと Park-PFI の是非、Park-PFI が何たるか、国交省やその説明が入っていましたね。実際、その細部に議論のポイントが来てしまって、今回も今、皆さんが言われたように、国でも県でも市でも、この洞峰公園というものが未来に引き継ぐアセットとしての価値があるのかないのかというのがまず論点で、それを維持するのであれば、洞峰公園としては、メンテナンスコストはどのようなのですか、その費用負担についてはどのようなのですか、市民の参加はどのようなのですかという議論をされなければいけないので、今後の協議会の中では、多分、市長が強いリーダーシップを持って、そういうスタンドポイントでリードしていただけたらと思うのですけれども、その辺が、進め方がどうしてもミクロのピンポイントの枝葉のところに行って、バーベキューはどうですか、におい、煙がどうか、もちろん、そんなもろもろのところ、どうしても特に昨年の県の説明会ではちょっと違和感がありました。

今回、せっかく、市長、それから市の職員の皆さん、県の職員の皆さんの御尽力でここまで持ってこられたので、いろいろ議論はあると思います。当然、大変な議論があることなのですけれども、まず最大の論点は、本当に日本国、県、市として、この公園の価値があるのかないのか、それを存続させるべきなのか、させるべきではないのか、させるとすれば、誰が受益者としてその負担をするのか、その方法論は、という整理の仕方をしていかないと誤ってしまいます。

我が国は、10年以上前から人口減少社会になっています。さっき市長も話していましたが、3,700の市町村の中で、幸いにも人口が増えているところというのは茨城県には三つありますよね。守谷市と、つくば市と、つくばみらい市ですか。

そういう意味で、人口増加、経済が拡大していくときだったら、企業でもそうなのですから、何でもいいやいやと、どうせ資金があるからできると思うのですけれども、我々、実は日本国が最も大きなターニングポイントを迎えていて、意識セット、マインドセットをしなければいけない局面に入っているわけですから、12年前から。だから、取捨選択をする必要があるのかないのかということの、実は洞峰公園問題というのはシンボリックなものだと思っていて、単にこれは1億5,000万負担すればという話ではないと思います。

なので、どうしても皆さん1億5,000万、1億5,000万という話をしちゃうと思うのですけれども、確かに一般国民からすれば、1億5,000万というのは、生涯賃金が2億、3億ですという中でいえば、非常に大きな金額ですけれども、1,000億円のつくば市の歳入に対しての1.5億、御努力によって7,800万になるかもしれないと考えると、例えば3,000万円の手取りの人であれば、300円、400円をどうやりくりするかという問題の一つにすぎないわけですね。いいと言っているわけではありませんよ。やりくりで十分可能な範囲であろうと。それを払ってでも存続するのでしょうか。

ただ、1年前、1兆2、3千億円の平均的に収入がある茨城県としては、やっぱり人口数が多いということも踏まえて、さっきの取捨選択の範囲として、これは、(Park-PFIを実施する)ということ。これも一つ考え方だと思うのです。ですから、その辺を議論に議論を重ねて、本当に維持していくかどうかということをよく考えていただきたいし。ごめんなさい、ちょっと話が長くなりますが、つくば市のホームページを見たら、過去6年分の体育館とプールと新都市記念館でしたっけ、これが中心になりますけれども、大体過去6年間の実績と、今後5年間の計画で言うと、年度によって当然ずれはありますけれども、11年間平均で8,000万円、7,800万円ということですから、1億5,000万というのはもう少しダウンサイジングに移行していきなさいということも考えると、つくば市の1,000億のうちの8,000万で0.1%なので、十分

やりくりできるだろうと思いますので、僕が言いたいのは、金額がいいとか、あるいは結論ありきではなくて、オープンでフリーなディスカッションを、市長にはぜひ強いリーダーシップを持って進めていただきたいと思います。以上です。

○回答

ありがとうございます。

本当に、非常に大事な視点だと思います。それこそ、まさに先ほど私が述べましたとおり、この洞峰公園という題材を使って市を考えるひとつきっかけにもなっているのだと思うのですね。本当に洞峰公園が、価値が私は、あると思っています。私は、あると思っていますが、全然（問題がない）、いいじゃんグラウンディングで、という方もいらっしゃいます。それに対して、価値があるだろうと一方的に言うだけではないので、こういう形で説明会を開くなど、アンケートをすることによって、いろいろな御意見を聞いていきたいなということを思っていますが、そもそも論として、まさにこの洞峰公園の価値というのを考える必要があるというのは、それは議論の最初にこういうものを持ってきて、その上で議論に入ってはいましたが、これから協議会等で議論をする際においても、そういう視点は決して忘れずに、維持管理費の平均ですので、それが1.5億でも、あるいは8,000万でも、財政に与える影響という意味では、そこまで甚大ではないですけれども、それでも細かいものであれば、本当に数万円のことでも不要と思えば削りますし、必要と思えば多額の投資をすると（考えています）。この判断の優先順位は、最終的にはもちろん私が決めるわけですが、そのプロセスで市民の皆さんとどういう関わりを持てる、そして、議員の皆さんとどういう関わりを持てるかということ積み上げていって、私の判断になって、それをまた議会にお出しをして、それで議会で、ああ、そうだねとなれば賛成多数になりますし、それは違いうだろうとなれば否決をされるということなのかなと思っていますので、その議論の軸をずらさないように、順番に説明していきたいなと思っております。ありがとうございます。

○Lさん

午前中に引き続き、すみません。

ここ洞峰公園で皆さん賛成の方が多いと思うのですけれども、あえて反対の方向から言わせていただきますけれども。私自身、実は環境を守ることは大事だと思っていますし、洞峰公園をなるべく守りたいのですけれども、結局バランスの問題だと思うのです、コストの。人件費とか今どんどん上がっていて、下げられますというお話なのですけれども、どう考えても楽観的すぎるのではないかなと思っていますし、そ

もそも過去の、今までやったつくば市と比べると、アンバランスだと思うのです。ついこの間、元運動公園の跡地だったところ、森を売却して倉庫にするということなのですが、あそこはいいのに、なぜ洞峰公園の周りの、しかも、洞峰公園を潰しますとなったら大反対なのですけれども、野球場の周りや駐車場の周りの僅かな面積が失われる。それも失われたくないのは分かるのですけれども、じゃ、総合運動公園用地は、どういうことですかというところだと思います。

そういうこともありますし、あと、グランピングの話も、グランピングをここでやるのはふさわしくないとおっしゃるのですけれども、何年前か、中央公園で、市長もバーベキューとかやっていますけれども、あそこも文教地区なわけですからけれども、あそこは文教地区だけでもやってよくて、ここで駄目というのは何でなんですか（わからない）と。あるいは、キャンプして治安が悪くなるということに対して、ゆかりの森とか六斗の森とかは、治安が悪くなくてもいい地域なのですか、と考えると、なんかアンバランスだと思うのですね。

だから、単に1億5,000万もったいないと言っているわけじゃなくて、1億5,000万円かける価値があるのです。だったら、ほかの失われる森があったら買い取って、1億5,000万円、今後も負担し続けるのか。そういう意味で、ここをやるというのが私もよく分からなくて。

そもそも、茨城県が100・0の議論になったのは何でだろうかというのは、それは私も不思議なのですけれども、市長が反対の方のほうに思い切りついてしまったので、茨城県知事もメンツ上譲れなくなってしまったと思うのです。そこで市長は中間的な位置に立っていただいて、反対の方の心配に対して、茨城県からも、こういう性格だと理解して、もっと柔軟に対応してもらえるような立ち位置になればよかったのですけれども、完全に反対側についてしまったので、茨城県はメンツ上動かなくなってしまったというのが私の感覚で、その感情のもつれの、とぼっちりを（受けている）、市民が1億5,000万を負担するのですか、というふうには私が見えます。そういう意味で、私の意見としては反対ですし、ぜひ市議会で否決されて一旦白紙になって、茨城県さんは今回のことで、今の結果でいいとは思っていらっやらないと思うので、ここでもう一回仕切り直しされるのがいいのかなと思っています。以上です。

○回答

ありがとうございます。

どこの森も守らなくちゃいけないのかという御質問に対しては、これは洞峰公園が今まで積み上げてきたその特殊性というのは、市内のほかの森とは随分違うものがあると思っています。もともと洞峰沼という、江戸時代からいろいろな形で活用されてきたものを、今回、公園を造ることによって縮小はしましたけれ

ども、当時の生態系とか植生を調査して、そして、その後も有志の団体が、どういう特性があるのかといった、特に生態系の記録をしてきている森というのは、あるいは公園というのは、全国的にもあまり多くはないのではないかと考えています。最近では、いろいろな活動が全国各地で行われていると思いますが、こういう、そもそも思想を持って、そして、1980年代、90年代にも、いろいろな洞峰公園を愛する会のような皆さんが調査をして、著作なんかを残されていますけれども、そういう形で先人たちが守ってくれた森というのは、いわゆる雑木林的にそのままなっている森とは、私は別のものとして捉えて良いのではないかなと考えています。

グランピングをして治安が悪くなっていく、あるいは、つくば駅前でバーベキューをやったのではないかというお話ですけれども、これは位置の問題だと思っています。つくば駅前というのは、当然、市の最中心部の、繁華街と呼べるかは分かりませんが、飲食店、お酒を出すお店も非常にたくさんある、いわゆる当然にぎわいのあるエリアなわけですけれども。

○Lさん

吾妻小学校の前ですよ。

○回答

はい、吾妻小学校の前ですけれども、駅から降りてすぐの場所ですよ。確かに、そもそも吾妻小学校があつた場所での議論は以前からあつて、あんな真ん中に小学校があるというのは、環境としてどうなのという御意見もあるのですけれども。

ただ、洞峰公園は住宅街の中にあつて、研究所と一体となつて、この自然が守られてきたという先ほど御説明したような経緯も含めて考えると、やはりバーベキューにも不適地であると思いますし、キャンプにも不適地というものがあると思っています。私自身、本当にキャンプもバーベキューも好きなので、それが筑波山のふもととかの環境にあるようなキャンプ場を Park-PFI で造ってくれるなら、喜んで賛成するわけですけれども、これまでの生態系の調査の積み上げであつたり、こういう思想的な経緯であつたり、そういうものを考えると、そこにグランピングというのは、私は適切ではないと考えています。

それで、知事とこじれたのではないかという話ですけれども、こういうふうな話になる前から、県とは話をしていました。そもそもオブザーバーとして出席をしたのが令和3年10月で、この時点でも、既に様々な懸念点を頂いていました。さらに、この先があるのですけれども、ここでも P F I についての御相談があつて、例えばグランピングとかができるのかと（問い合わせがあり）、できませんよというのをはっきりとお答えをしているのですよ。そういうことがあつたのですけれども、残念ながら、ここでも発言をし

たのですけれども、結果として事業者が決定をしてしまったというプロセスがありますので、私と知事が個人的にけんかして判断したとか、そういうことではなくて、やはり県としては、Park-PFI 事業を何としてもグランピングで進めない限りは費用が回収できないからというところが、終始一貫して変わらなかったのかなということは思っております。これも鈴木県議といろいろと一緒にしてもらいながら、知事ともいろいろな話をしていますので、仲違いをしているというわけではありません。

○Mさん

私は、説明会に市長自ら先頭を切って、こういういろいろな意見を聞いてくださって、前面に立って話の相手になっていただけるということは、本当に感謝したいと思います。前の県の説明会があったときは、知事は一度も来たことがないし、我々がひたすら怒りをたくさんぶつけても、一回も来ないのですよ。こんなにすごい問題を突然、嵐のごとく、天災のごとく我々に吹き降ろしておきながら、それはやっぱり為政者というのかな、首長さんとしてはどうかなと思うのですけれども。さすがに五十嵐市長は、私は感心しました。

あと、ずっと、何でPFIに反対するのかということばかり言われている人がいるけれども、この自然を守るべく、あそこでグランピングとかバーベキューとかやったら、夜中だって照明がこうこうとつくし、我々が大事に思っている洞峰沼も、あそこに野鳥とか野生生物がたくさんいるのですよ。野鳥だって100種以上の野鳥がいるわけですから、そんなものは、あっという間に人為的な環境変化でいなくなっちゃうのですよね。だから、グランピングなんかさせちゃいけないと思うわけですよ。そういう、いかに貴重な自然がここのつくばの中で、特にグリーンベルトが維持されていて、国立研究所の豊富な緑地があって、その中の1か所として洞峰公園があるわけですから、こんなにグリーンが集まっている場所はないのですよ。これをやっぱり大事にしていかなかったら、つくばは、本当に大事な宝を失っていくことになると思います。だから、ぜひとも市に移管していただいて、協議会で、どのようにしてこの公園を後世に残していくかというお話をさせていただきたいと思います。

○回答

ありがとうございます。

私もできるだけ直接皆さんと話したいなと（考えています）、ここの案件に限らず、もっとも全て私がやることはできないのですけれども、こういう場所での皆さんの温度感を伺ったりすることは、政治家として非常に重要なことだと思っております。今、ネットのアンケートとか、作ろうと思えば、無限にいろ

いろな意見を作れるわけですけれども、こういう場にわざわざ来てくださって、いろいろなお立場から、それは賛成の方も反対の方ももちろんそうですけれども、その温度感を自分で感じた上で、それを直接あるいは、間接的に、自分の中で政策の判断にいかしていくことは非常に重要だと思っていますので、全てはできませんけれども、こういう市にとっても大きな価値がある場所は、直接お話をしたいなと思って、今日、来ました。

(洞峰公園の自然環境は) 本当に一度壊れてしまうなど、一度変化してしまうと、恐らく本当に戻らないものですので、その生態系の複雑性というのは、私は非常に重要だと考えておりますので、生態系というものの価値を、市民の大切な場所としての価値をどう判断し、全体的な判断の中で、必要な投資をしていくと(考えています)、ありがとうございました。

ONさん

失礼ながら、まず今日、市長が来られたのは、本当に正直びっくりしまして、今日は、土日だということもあると思うのですけれども、私は、実は今年から、温暖化の市の懇話会というのがありまして、そのメンバーに入れていただいているのですが、市の市民委員として入っているのですけれども、市長が5分だけ出て、それで帰られる日もあったので、今日ずっといるのだと思って、3回も来るのだと思って、どうなっているのだ、この懇話会とは。この間、その懇話会というのがあるって、そしたら、今、皆さん御存じかどうか知りませんが、気候市民会議というのをこの秋にやるのですよ。これは、50人くらいの市民を選んで、たまたま選ばれた人が温暖化に関して議論するという、議論というか、いろいろと勉強して議論するという場なのですけれども、そこに募集をかけたらしいのです。さっき市長がおっしゃっていたのですけれども、普通の市だと2%くらいしか、いいです、やります、という返事が来ないのに、つくば市は11%(参加者が)来た。これは大変すごいことだと思うのですね。つくば市は、先ほどの方もいらっしゃいました、何人もの方もいらっしゃいましたけれども、やっぱり環境意識がものすごく高いと思っています。今日の午前も私、いまして、それで、協議会で温暖化のこともやったらどうかと、温暖化も大変重要な問題なので、併せてできれば議論していただきたいと思いますと思うのですが。

先ほどの項目に合わせて話をしますと、コミュニケーションツールというのが今、大事だということで、その懇話会の中でも、あるいは市の計画の中にも入っている。コミュニケーションツールというのは、市と、市民とか産とか学とか、そういったところとどう連携するかという、そういうツールが大事だよということが入っていて、しかもこれ環境(問題)なので、すごく関わりたい人がいっぱいいると思うのです

ね。これをどうやってうまくやるかというふうに思っています。だから、ぜひコミュニケーションツールとして協議会で話をするようなふうにしていただきたいし、実際には温暖化と同じ話であって、その懇話会というのもコミュニケーションツールになるのではないのかと私は言ったのですけれども、なかなかまだ分からないですけれども、気候市民会議にしても、そういったコミュニケーションツールをうまくつくっていけば、つくば市は、非常に、興味、関心が高い人がいっぱいいるので、ぜひそれで市ともうまく連携していただければいいと。というのは、市の方って、今日、公園課の方が何人いらっしゃるかわからないのですけれども、そんなに、そもそも数（人員が）いないですよ。それは環境政策課も一緒に、人がいない中で、そんなに市だけでやってくださいと言ったって、これはできっこないので、いかに市民、つくば市って環境の意識高いし、ポテンシャルの高さ、SDGs 未来都市の選ばれた理由はポテンシャルですから。政策じゃないのですよ。ポテンシャルで選ばれているわけで、そのポテンシャルの高さをどう生かすかというところがこれから重要になると思います。いかに官民協働する、そういうコミュニケーションツールをうまく使っていただきたいなと（思います）。

そうしないと、今ちなみに、私が、例えば市とすごくコミュニケーションを取りたいというので、なのですけれども、今だと市長に手紙を出すくらいしか手がなくて、結局そうすると1対1という連携しかなくて、なかなかみんな意見共有するということができないし、そういった意味も含めましても、ぜひいいコミュニケーションツールを協議会などの形でつくっていただきたいなというふうに思います。以上です。

○回答

ありがとうございます。

おっしゃるとおりで、本当にこの協議会は、かなり価値のあるコミュニケーションの場になるのではないかと考えていますし、そこで恐らく新しいことを学ぶ人たちもたくさんいると思いますし、行政も皆さんの御意見や御視点を学べることになると思っています。

さらに、ほかの協議会で、今のお話のように、協議会出てくれませんかと言ったら、その専門家は、2、3%でしょうとかと言っていて、実際2.9%だったのですが、本当に今お話があったように（参加者が）11%という、ほかのところよりも謝礼が高かったというのもあるのですけれども、でも、そんなものをはるかに凌駕するだけの数字で、これはうれしい喜びだったと、誇らしさもあったのですが。そういう市民がたくさんいるまちですので、協議会でもそういうコミュニケーションを積極的に取っていきたいと思います。

〇〇さん

説明会ありがとうございます。

洞峰公園の周辺で、今、高校生になる息子と小学生の娘の子育てをずっとしています。洞峰公園の恩恵をよく受けて子供たちを育てました。周りのお母さんたち、一緒に子育ての仲間たちも、本当にこの洞峰公園すごくいいよねということで、みんなで子育てしています。市内、ほかの、洞峰公園周辺じゃなくても、わざわざ洞峰公園に遊びに行きますという声はいっぱいあるし、市内、市外関係なく、本当にいい公園だと思っています。つくば市、本当に教育水準もすごく高くて、今、スクールのようなもので、他の市町村の方たちよりも本当に恵まれているなということを感じて、恩恵を受けていることをすごく感じます。

ですが、やっぱり最近の小・中学校とか、体験フィールド学習というか、体験型のようなものがちょっと少ないかな、子どもたち、もうちょっと外に出られたらいいなというのを感じるので、資料35ページのところでも提案してくださっているのですけれども、子どもたちが校外学習などで利用できるとすごくいいなと思います。もし、つくば市で管理していただけることになったら、本当に子どもたち、やっぱり年に1、2回は洞峰公園に行こうみたいな、小学校どこもそんなのがあったら、どれだけ生き生きするか。今、子育て終わっているとか、子ども関係ないかなという方もいらっしゃると思うのですけれども、今の子どもたち、本当に生きづらさをすごく抱えています。そういうのを、外に出て自然を感じることによって、ものすごく影響を受け、心にすごくいい面があると思います。そういうふうにぜひ活用していけたら、本当につくば市の教育、もっともっと良くなって、今もどんどんこれだけ人口が多くなっているのは、先ほどもありましたけれども、本当に稀なことだと思って、それだけお友達もいっぱいできるということだと思ってしまうので、そういう仲間と一緒に育てる感性豊かなつくば市だといいなと思っています。

〇回答

ありがとうございます。

つくば市は、教育大綱というのが作られていまして、その中で、実体験から学ぶということを推奨しています。もちろん教科書にも書いてありますけれども、こうやって実際に、これは、大人が入っているかもしれないけれども、水の中に入ってみたり、あるいは、植物に触ってみたりという、五感を使って体験をしたことということは学びが深くなるとか、いろいろありますけれども、そういうことをもっとやっていければいいなと思っていますし。

本当にささやかですけれども、例えばプールに行きますよね。もし、学校のプールを使わないところで、

そういう際にプールだけで終わるのではなくて、一緒に屋外での学びもできたら、良いのではないかと思いますし、恐らくそういうアイデアは、皆さん無限にお持ちだと思うのです。ですので、そういうことに使えるフィールドとして洞峰公園の価値を最大限に活用しながら、さらに高めていくことが、市への無償譲渡でそれができるのではないかと考えていますので、そういう体験をしていくような場所に、生態系も含めて学んでいく場所にしたいなと考えていますので。ありがとうございました。

○Pさん

洞峰公園の価値について、少し数字だけ提供したいと思います。その上でひとつ質問を（いたします）。洞峰公園の自然が豊かということを地域の人と言いますが、恐らく、離れている人は、それが何なのかがよく分からないと思うので、数字を出させていただきます。茨城県で観察できる野鳥というのは年間180種くらい。この公園は、ほぼ年間通じて100種類が見られます。市街地で、25万人都市の駅から20分のところにある公園で、県の半数近くの野鳥を観察することができる公園です。それから、絶滅危惧種の植物に関しても、有識者の先生と調査しているのですけれども、今200種類くらいいて、うち絶滅危惧種が幾つかあり、あと、近県の関東圏、東京、千葉、埼玉、そういったところでは、とっくの昔に絶滅危惧種になっている昆虫や植物もいっぱいいます。今、それもみんなで、先生に教えてもらいながら調査しています。そういう公園って、数値的にも、数値で示しますと稀な公園です。山の中に行かなくても、北海道に行かなくても、信州に行かなくても、茨城県中歩くと見られるようなものが、そこに定期的に来ていけば見られる公園ということは、これは専門家の方たちから見ても、五十嵐市長がおっしゃったように、市街地、街中の公園としては、極めて希有というか、価値のあるという、それが自然というところでひとつの視点だと思います。だから、そういう場所が果たしてつくば市の中にどれだけあるのか。筑波山も好きです。宝篋山も好きです。みんなそういうところも好きで、でも、ここもワンオブゼムに入れていただいた中で、貴重な場所。ただ、今までそれがあまり言及されてこなかったのが、公園というひとくくりになっていることが、県と住民との一つの掛け違いみたいなことが起こってきたことと思いますが、それは今さら取り返しがつかないところなので、今日は、数字だけお伝えして、価値というところを数字にすると、そういうものであります。

質問なのですけれども、実は今、市長がおっしゃったネイチャーポジティブで、環境省が生物多様性の戦略も新戦略とかつくって、OECDとって自然共生サイトというのを、国の面積の30%をあるレベルの生物多様性が維持できるような場所を30%、今、陸地が20%くらいで、あと10%足りなくて、そういう

場所を本当にいろいろなところに設けていこうというイニシアティブが始まったと思うのですけれども、つくば市としてもぜひ、洞峰公園だけじゃなくていいのですけれども、つくばというのは、そういう貴重な場所がいっぱいあるので、そういったところにつくば市として名のりを上げて、サイエンス、ネイチャー、ヒューマン、さっきのシンボルじゃないですけれども、あるいは、数十年前、ひょっとしたらもっと昔から人々が求めているまちの理想像の一つとして捉えていっていただけるようなお考えがあるかどうかというところを伺いたい。これを出すと、有形無形の経済的インセンティブとか、国もだし、経団連とかもすごく賛同しているので、そのところを個人的にはリードしていっていただける、誇れる行政であって欲しいと思っています。

○回答

ありがとうございます。

今のお話は、2030年までに30%（を自然環境エリアとして保存）、30by30と呼ばれているものだと思いますが、当然、中でどういうことができるかということは検討をしています。やはり目標値を持って取組を進めるといのは重要なことだと思っていますので、私としては、どういう形で30by30を進めていけるかというのは、私自身もいろいろ調査をしていますし、中でもいろいろ議論しながらやっていきたいと思っています。当然それは、協議会の皆さんにも議論になるところ、テーマとしていただくようなこともできればいいなと思っていますし、生物多様性の文脈でも当然そういう議論が出てきますので、私はポジティブに考えています。

○Qさん

つくば市の〇〇と申します。

私は、牛久で育ったのですけれども、洞峰公園というのは、友人と遊びに来る場所でした。子育て中のとき、学校のときも、ここの運動公園をよく利用し、阿見、土浦、牛久といった地域の方が集う場所でもあるので、そういった県南地域としての存在意義みたいな部分も含めて考えていっていただけたらなということと、先ほども校外学習というお話があったと思うのですけれども、県の施設で自然博物館というすごく私のお気に入りの博物館があるのですけれども、そういうところと、市のほうとか、そういったものも交流しながら、皆さんと交流しながらつくり上げていっていただきたいなと、それで県の方もぜひ関わっていただけたらなというふうに思います。

○回答

ありがとうございます。

私も自然博物館が大好きでして、最近には行けていないですけども、実は、つくば市の生物多様性の戦略は、自然博物館の方にいろいろ御協力をいただいて、今、作っているところです。確かに多くの方が市外からもいらっしゃっていますが、法定としては、つくば市域の公園ということの中で、そこをどう位置づけるかというのはありますけれども、いろいろな形で、今回のアンケートも市民以外の方でももちろん答えられるようになると思いますので、そういうことも含めて、いろいろな方たちから御意見を頂いて、それを協議会での議論に反映できればいいなというふうに思っておりますし、専門家のいろいろな御知見を頂きながら、ひとつひとつ進めていきたいなと思っております。ありがとうございます。

○Rさん

洞峰公園も本当に大事だと私も思います。それを大切にすることは分かるのです。私も同感です。ただ、先ほど、議論の軸をぶらさないということは非常に大事だと思いますし、重要ですので。ただ、そういう観点から見ると、今、ここでの議論というのは、ひとつ違和感があるのは、つくば市が1.5億円出さないと、県に任せちゃうと洞峰公園というのはなくなってしまうのかと。あるいは、徹底的に破壊されてしまうのかという疑問がひとつあります。

それから、無償譲渡、無償譲渡ということで繰り返しているときに、無償譲渡なのだから、年間1億5,000万くらい仕方ないじゃないかと。そのためには学校のプール壊してもいいやという話になっちゃっているのだけれども、ちょっと違うなど。年間で1億5,000万というのは、一時金に直すと20億、30億のお金ですよね。毎年1.5億の維持管理が必要ということは、そのお金を出して管理する。ですから、その辺をもうちょっとよく考えてみたいなど。

それと、つくば市が管理しないとSDGsできないのかと。五十嵐さんがこの公園を大切に思って、ここでもって協議会をつくって、本当に、そこで市民のみんなで力を合わせてやっていきたいという気持ちはよく分かるのですけれども、あんまりそのことで変な状態になっちゃうと、本当に大事なものは、考えること、必要だなど思うのです。

それで、最初に、県の言い分をもう一回よく見てみたいと思うのですけれども、簡単な話、20haあって、茨城県は年間で1億5,000万かけているよと。半分为建物で、半分为緑地だと。業務委託で6,000万くらい稼いで負担を減らしたいと。年間9,000万円は県が出しますよと。（市に無償譲渡された場合）市の負

担は増える、そういうことを県は考えていると思うのですよね。

県はちゃんと洞峰公園を守りますと言っているわけですよ。ただ、6,000万円を稼ぐために、要するに酒を出すとか駄目じゃないかと、そういうことで、あったと思うのですけれども、ただ、よく考えてみると、この問題、そんなに県と対立しなければならない問題なのかなと（思います）。だって、県は9,000万出すと言っているのですよね。ただ、その6,000万の稼ぎ方で、市民が嫌がるようなことはやめて欲しいということの話であれば十分可能だったと思うし、これからも守れると思うのですよね。

あと、もうひとつ、自然の価値という意味では、もうちょっと工夫して、生態系ということを見ると、もうちょっと緑を増やすとか、あんまり植栽管理しないとか、そういうことを工夫するだけで、もっと生態系の価値が上がると思うし、あれだけ、私が感じているのは。だから、もうちょっとそういった工夫をやって、そのためにお金がかかることとかからないことがあって、それは、五十嵐さんは管理の方法の問題だと言いましたけれども、管理の思想の問題なのですよね。そういうことをちゃんと県と真つ当な議論をすれば、1億5,000万だとか何だとかという話にはならないと思うので、もう少し協議会をつくる前に、無償譲渡についてはよく考え直して、議会でも議論してもらいたいというのが私の意見です。

○回答

ありがとうございます。

県とは、今、いろいろ御一緒していますし、本当に密に連携をしながら話を進めたいと思っています。その中で、今の県の提案がいいものだということについては、冒頭から申し上げているとおり、やはり全体の生態系を考えたときに、グランピングをして、樹木をかなりの本数切ってしまうと、照明の話もありましたが、生態系の環境に影響を与えることを考えると、6,000万のためにこの積み上げてこられた生態系が失われるというのは、それはもう取れないという認識をしています。

県ともいろいろ話をしていって、先ほどもちょっとお話があったかもしれませんが、なかなか、中間というものを幾つか（提案して）、先ほど値上げの代替案というのがまさに6,000万の話なのですけれども、そういったものは県としては採用しないということ等もありましたので、様々な議論をして、様々な交渉を積み重ねてきた結果が今回の無償譲渡という形にはなっているので、もちろんこれからも県とは密に連携をしていきますし、一緒にできることは（実施したいと考えています）。県に協議会には入っていただきたいと思っていますけれども、そういうことも含めて、コミュニケーションを取りながら進めていきたいというふうに考えておりますので、なかなか、もう一度チャラにしてということは、様々な形で、私としては避けたいなと思っております。

○Rさん

1点だけお願いします。仮の話なのですけれども、じゃ、おまえはどうするのかと言われたら、私は、県に7,500万円の緑地の管理費は、県は出さなくていいですと、つくば市が緑地の管理はしますと、私はこれまでどおり7,500万でやってくださいと、こう申し上げて、緑地はつくば市が管理します。その代わり、ああいうふうな庭園型の公園の管理はしない。そうすれば、費用は多分4分の1か5分の1になりますから。

午前中も言いましたけれども、下草や木の枝を外に出さない。これは間伐をすると。木の剪定はやらない。もっと木を植えて緑林を増やす。それから、池の浚渫。そうすれば、昆虫、鳥、今の倍くらいの種類になります。それで費用はかからない。なおかつ、隣接している産総研と気象研の緑地も、市民が立ち入れるようにしてもらって、あの全体を自然公園として、本当の意味での自然公園として管理すれば、これは、つくば市だけじゃなくて、県南の中での非常に価値ある公園になると思うのですね。そのためにお金かからないですから。そういうことをやっていただきたいなど。1億5,000万をどうだのこうだのと議論しないで、県とけんかするのはやめて、幾らでもそういった方法は可能だと思うので、方法論というか、自然公園の考え方というか、思想そのものをしっかりと基本から県も市も議論したほうが、そのほうがずっといいと思います。以上です。

○回答

ありがとうございます。なんか○○さんに応援していただいているような気持ちになってきました。

○Sさん

説明会ありがとうございました。寄附のことなのですけれども、それで、先ほど市民の出資という話がちらっと出たのですけれども、山において、入山料を取ると。入山料を取らなくても、募金箱を置いてあるのです。そこにお札がいっぱい入っているのです。もしこれが公園の入園料になったら、入園日365日、そこで写真を撮ったりしているので、寄附したいです。

○回答

ありがとうございます。

寄附をしてくださる方、ボランティアをしてくださる方、そういうことを本当に多くの方が考えてくださるのうれしいですし、そうやって御自身がここで、寄附するよとおっしゃっていただけることもとても

うれしいですし、やっぱりそれが洞峰公園の大きな価値なのだと思うのですよね。なかなか、多分、市内に公園たくさんありますけれども、ここまで住民、あるいは、どことは言いませんけれども、どこかで同じようなことになっても、きっと、まあ、いいのでないか、くらいのことになると思うのですが、ただ、洞峰公園って、やっぱりそういう場所じゃないということ、多くの皆様が日頃から感じているという結果が今に至っていると思いますので、いきなり募金箱はまだ置きませんけれども、協議会とかで、どういう形で資金を集めていこうか、どういう形で自分がお金を出していきたいという気持ちに伝えていくか、そういうこともしっかり議論をしてもらって、それでまた次の世代につなげていく資金になるのではないかなと思っていますので、ぜひ、よろしく願います。ありがとうございます。

○Tさん

どうもありがとうございます。〇〇さんが先ほどおっしゃっていた、自然、いい意味で手をかけ過ぎないで自然を守っていくと、そのことによってコストもカットできると、それはそのとおりだと思います。これからいろいろな工夫ができると思います。それで、私たちつくば市民は、茨城県からつくば市にとにかく持ってくるのだと、つくば市のものにしたいのだという思いじゃないです。PFIをやってしまったら、どんなにあの自然が壊れてしまうか、この静かなものを、皆さん、この体育館の周り、緑にあふれていますよ。木漏れ日があって、いろいろな緑のグラデーション、この静かな環境で、喧騒を巻き起こして、グランピングをやって、ドッグランをやって、わあわあ、わあわあ（騒ぐ）、あるいは東京からの人を呼び込むような形で。そういうことをやって、この美しい自然を壊したくないのですよ。PFIをやることによって、どんなにこの美しい自然を壊してしまうか、そのことを本当に危惧しているのです。だから、何もつくば市のものにしたいということではなくて、もしPFIをやめて、県が従来どおり管理していただけのだったら、それはそれでウェルカムなのですよ。ということで、何もつくば市のものにしたいとか、そんな気持ちは一切つくば市民としてありません。とにかく、この美しい自然を壊さないで欲しい、そういう市民全員の思いなのです。そのことを共有したいと思います。

そのためには、自分たちでも寄附するとか、私だってボランティアをやります。そういう思いを持った人がたくさんいると思います。そういうことを協力しながらやって、まちづくりをみんなで考えていくとか、これが私たちの財産であり、資産だと思っています。以上です。どうもありがとうございました。

○回答

ありがとうございました。

ぜひ、みんなでこの環境を守って、より良いものにしていきたいと思いますので、よろしくお願ひします。大変長時間、45分も延長させていただいて、すみませんでした。私、この後、1か所お祭りに挨拶で顔を出して、その後、荃崎に6時から（説明会を実施する）という日程ですので、申し訳ないのですが、これで終わらせていただきます。ただ、皆さんからいろいろお話を頂いたことを、賛成の御意見も反対の御意見も含めて、いろいろな形で今後の議論に生かしていきたいと思っていますので、これからもどうぞよろしくお願ひします。本当にありがとうございました。

司会 たくさんの御意見ありがとうございました。

以上をもちまして、洞峰公園の無償譲渡に関する説明会を閉会とさせていただきます。皆様、本日はありがとうございました。